

川越市グリーンツーリズム拠点施設指定管理者の選定結果について

川越市産業観光部農政課

1 指定管理者

アグリリンク共同事業体

構成員代表者

株式会社日比谷花壇

代表取締役 宮島 浩彰

構成員

株式会社マイファーム

代表取締役 西辻 一真

構成員

株式会社サンワックス

代表取締役 野原 治人

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

3 応募者（4者）

A者

B者

C者 アグリリンク共同事業体

D者

4 評価点

申請者名	A者	B者	C者	D者
得 点	192.5点	164.2点	211.7点	167点

5 アグリリンク共同事業体の提案の概要

(1) 総括業務・維持管理業務

○管理運営体制、職員の配置方針及び具体的な職員配置

- ・公共施設管理運営マネジャーの資格を有する総括責任者及び2名の副責任者の配置 等

○職員研修・人材育成

- ・全職員研修（新人研修、コンプライアンス研修、危機管理研修、安全衛生研修）、職務別専門研修（接遇スキルアップ研修、運営業務専門研修、維持管

理業務研修、PR・情報発信研修） 等

○利用者サービス向上の取組、セルフモニタリング及び近隣対応

- ・アンケート調査の体系的実施

・客観的な数値目標と利用者からの評価を組み合わせたセルフモニタリング 等

○施設の維持管理の考え方

- ・中・長期修繕計画の策定、適切な修繕、更新業務

・修繕費の縮減のための自社技術員による修繕 等

○個人情報の保護及び情報の公開

- ・関連法令及び規則等の厳格な遵守

・従事者管理体制の整備 等

(2) 農業ふれあいセンター運営業務

- ・QRコード決済等のキャッシュレス決済

・研究機関や企業と連携した食文化や農業に関する専門講座の実施

・花とみどりの専門知的見を取り入れた利用者のニーズに沿った講習会の実施

・「アグリイノベーション大学校」の講義を取り入れた体系的な農業教育の提供 等

(3) 市民農園運営業務

- ・システムを活用し「イベント参加履歴」、「利用区画の更新状況」などを効率的に記録

・常駐職員による日常的に利用者からの質問に対応できる体制の整備

・LINE オープンチャットを用いた相談窓口の開設 等

(4) 体験農園運営業務

- ・年間を通じて多様な作物の栽培と収穫体験

・キッズファーマープログラムの実施

・「援農士」制度を活用し、援農に興味関心のある市民と生産者を結び付け、交流を促進し、川越市における援農活動の仕組みづくりからの支援 等

(5) 緑地広場運営業務

- ・地域の農家や農業団体と連携し、農機具に触れたり、乗車体験できる子ども向けイベントを企画

・季節やイベントに合わせたフォトスポットの設置 等

(6) 大屋根広場運営業務

- ・季節ごとの川越産旬野菜等を活用した、多様なニーズに応えるテーマ別 BBQ プランの企画

- ・家族向けイベントとして、収穫体験と連携したBBQ料理教室などのワークショップの企画、川越産食材の魅力を最大限に引き出すオリジナルレシピを考えし、BBQ利用者向けに提供 等

(7) グリーンツーリズム P R 業務

- ・Instagram等のSNSやデジタルサイネージを積極的に活用したターゲット層に合わせた、迅速かつ効果的な情報発信
- ・実際に現地を訪問し、店舗担当者や生産者との対話を通じて、商品の背景や生産者の想いといった「ストーリー」の収集
- ・本施設と庭先販売所を結ぶ「農業散策マップ」を作成・配布することで、地域経済への貢献 等

(8) キャンプスペース運営業務

- ・収穫体験や食体験と連携した収穫BBQキャンプ
- ・オンラインでの事前チェックインやセルフチェックインの導入検討
- ・ファイヤーサークルを活用した「星空の下の焚火トークイベント」など都市型キャンプイベントの実施 等

(9) カフェスペースの活用方法

- ・川越産農産物を積極的に活用したメニュー提供
- ・農園の一部を花と野菜を組み合わせたポタジェ（収穫と観賞を目的としたガーデン）として、テーブルを設置してテイクアウトできる環境の整備 等

(10) 自主事業

- ・市民農園の除草、水やりサービス、種苗等の販売
- ・キャンプ設営、撤収補助、焚き火指導、用具貸出
- ・定期的なマルシェの開催 等

(11) 提案価格

- ・提案価格については、物価上昇や利用料金制を加味した積算がされている

6 選定の理由

- ・候補者は、全21の審査項目のうち、15項目において最高の得点を得た。
- ・特に評価が高かったものとして、「農業関係者の資質向上に資する場の提供」では、新規就農者の育成について体系的な農業教育の提案が評価された。
- ・「体験農園運営業務」では、援農コミュニティの拡充による農業の生産現場

を支える担い手として市民と生産者との交流促進が評価された。

- ・「自主事業」においても、社会人向け農業講座や季節ごとの収穫祭が高く評価された。
- ・4社の中で農業に関しては一番実績がある。新規就農者を支援するなど、これまででも独自事業を推進した実績がある。